

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)モリタ新拠点開発プロジェクト	階数	地上3F
建設地	大阪府八尾市神武町	構造	S造
用途地域	工業専用地域、準防火地域	平均居住人員	10人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,000時間/年(想定値)
建物用途	事務所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年5月 予定	評価の実施日	2022年3月9日
敷地面積	12,300㎡	作成者	大隈 亮佑
建築面積	1,835㎡	確認日	2022年3月11日
延床面積	2,855㎡	確認者	貝野 悠



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.8

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30% ★★★★★ 60% ★★★★★ 80% ★★★★★ 100% ☆☆☆ 100%超: ☆☆☆

① 参照値 100% (138 kg-CO₂/年・m²)

② 建築物の取組み 59% (92 kg-CO₂/年・m²)

③ 上記+②以外の 42%

④ 上記+ 42%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.9

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.1

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.0

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.5

LR のスコア = 3.9

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.4

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.4

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.7

3 設計上の配慮事項		
総合	大阪府八尾市に計画される実験施設の計画である。内装材にはF☆☆☆☆を採用し、全館禁煙とすることで、空気室環境に配慮している。	その他 特になし。
Q1 室内環境	内装材には全面的にF☆☆☆☆を採用し、また全館禁煙とすることで、空気室環境に配慮している。	Q3 室外環境(敷地内) 大阪府の自生種の植樹を計画しており、外構緑化に積極的に取り組んでいる。
LR1 エネルギー	高効率な設備システムを導入し、省エネルギーに配慮している。	LR3 敷地外環境 燃焼機器は使用せず、大気汚染防止に配慮している。
Q2 サービス性能	耐用年数の長い外装、配管材料を採用し建物の維持管理に配慮している。また、階高や空間にゆとりのある計画とし、機能性に配慮している。	
LR2 資源・マテリアル	リサイクル材の建材を採用することで、資源の保全に努めている。また、ノンフロン断熱材を使用することで、汚染物質含有材料の使用回避にも配慮している。	

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

R4-0004

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	(仮称)モリタ新拠点開発プロジェクト 計画地Ⅲ(実験棟)						
	建設地	大阪府八尾市神武町						
	用途/区分	事務所						
【評価結果】	CASBEE 総合評価						A	
①	CO2削減						5	
②	みどり・ヒート アイランド対策						3	
③	建物の断熱性						5	
④	エネルギー削減						5	
⑤	自然エネルギー直接利用						—	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	○	風力	—	地熱	—	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	—
	エネルギー消費量の報告						報告しない	
【評価項目】								
	項目	評価内容				スコア	評価	
①	CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				5.0	5	
②	みどり・ヒートアイランド対策							
	生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				2.0	3	
	敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3.2」のスコアによる評価				3.0		
	温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2.2」のスコアによる評価				3.0		
③	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価				5.0	5	
④	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価				5.0	5	
⑤	自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価				3.0	—	
	エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	報告しない	
その他								
		技術の名称			考慮事項			
	先進的技術の導入							
	特に配慮した事項							